

平成29年度事業報告

I 畜産経営の安定と技術の向上に関わる支援及び畜産への理解醸成を図る事業

1 畜産経営を支援する事業

(1) 畜産経営指導体制円滑化推進事業

(補助：茨城県，継続) 公益

ア 情報誌編集発行事業

畜産に関する経営管理技術，家畜衛生対策，市場取引状況，イベント等，各種情報を畜産関係者等に提供するため，情報誌「畜産茨城」の発行を行いました。

- ・発行部数 9,000部（年6回発行）
- ・配布先 会員，市町村，県関係機関，畜産関係団体等

イ 畜産経営改善技術指導事業

安定的な畜産経営を推進するため，畜産コンサルタント職員を5名設置し，経営感覚に優れた畜産経営体を育成・支援しました。

(2) 地域畜産総合支援体制整備事業

(受託：茨城県，継続) 公益

経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体を育成するため，各分野の専門家からなる経営改善指導チームの設置等，指導体制の整備及び指導手法・内容の充実を図り，畜産経営体の経営・生産技術の高度化に対する指導等を総合的に行いました。

ア 畜産経営体支援指導研究会の開催

経営診断に基づき，畜産経営体に対する経営支援の在り方等についての検討や情報提供を行うため，県及び関係機関を構成員とする研究会を開催しました。

- ・平成29年8月30日 NOSAI茨城会議室 参加者29名

「支援指導の概要，経営診断実施状況，畜産経営関係情報のホームページによる提供について」「家畜共済の概要と収入保険制度について」

イ 畜産経営技術指導用機器の整備

支援指導用データ集計，大家畜DBによる経営分析システムの活用，ホームページ等を活用した各種畜産情報の提供等に指導用機器として整備し活用しました。

ウ 畜産経営技術の総合支援指導

(ア) 個別支援指導

畜産経営改善指導チームにより，認定農業者や将来認定農業者となりうる意欲ある経営体等を対象に経営診断を実施するとともに，生産技術の改善や経営の安定化を図るため効率的な支援指導を実施しました。

区分	件数	備 考
経営診断改善指導	18件	酪農：4件 肉用牛：8件 養豚：6件
生産技術指導	67件	酪農：16件 肉用牛：27件 養豚：20件 養鶏：2件 その他：2件

(イ) 地域支援指導

畜産経営体、畜産関係の指導者等を対象とした経営セミナーを開催し、畜産経営技術の高度化を支援しました。

・開催 平成 30 年 1 月 18 日 茨城町:全農いばらき会議室 参加者 117 名

内容 (1)「日本版畜産 GAP (JGAP 家畜畜産物)」

農水省 食肉鶏卵課 国際情報分析官 関川 寛己 氏

(2)「GAP チャレンジシステムについて」

(公社)中央畜産会 衛生指導部 古賀 加奈子 氏

(ウ) 畜産経営改善指導チームの設置

畜産経営体からの要請内容、畜産経営体の経営の実態等に応じた畜産経営改善指導チームを設置し、経営改善、経営安定化のための効率的な支援指導を実施しました。総括畜産コンサルタント(2名) 畜産コンサルタント(4名) 畜産経営アドバイザー(30名)

エ 畜産経営関係情報のホームページによる提供

畜産経営体等に対する効率的かつ効果的な支援指導を行うため、情報の蓄積や提供を行いました。

農家のための経営支援事業	畜産コンサルタント事業	畜産技術情報
伝染病発生情報	機関誌(畜産茨城)	本県畜産の動向
市況情報、各種事業情報	銘柄畜産物紹介	堆肥流通コーナー

・いばらきの畜産情報 HP 年間アクセス数 516,300 件

(3) 畜産特別資金等推進指導事業

(補助:中央畜産会, 継続) **その他**

ア 県支援推進協議会の開催 (H29. 10. 25)

推進協議会, 専門委員会を開催し, 借受者に対する重点指導事項等の検討を行いました。

イ 借入者の経営改善のための指導等

県推進協議会と県内関係機関が連携を図り, 畜産特別資金の融資機関及び借受者の経営改善のための指導支援を行いました。畜特資金の借受者 2 件 (肉用牛 1 件・養豚 1 件)

(4) 貸付事業指導等事業

(受託:畜産近代化リース協会, 継続) **その他**

畜産近代化リース協会より貸付された機械施設の効率的な利用を図るため, 現地確認や管理状況についての調査及び指導を行いました。

・管理状況調査 1 経営体 送風機 1 物件

・新規開拓調査 95 経営体

2 畜産技術の向上や生産基盤の整備を図る事業

(1) 良質堆肥広域流通促進事業

(補助：茨城県, 継続) **公益**

畜産農家と耕種農家の連携を強化し、堆肥生産・利用双方の情報収集や交流を進めました。また、良質堆肥の生産及び広域流通を推進することにより、資源循環型農業を促進し農畜産業の安定的発展を図りました。

ア 堆肥利用集団の組織化支援及び広域流通促進

(ア) 堆肥コーディネーターを設置し、堆肥の需給情報を収集することにより堆肥の流通・利用の促進を図りました。(堆肥に関する問合せ件数 52 件)

(イ) 堆肥コンクールを開催し堆肥の品質向上を図りました。

- ・平成 29 年 12 月 21 日にコンクール表彰式及びセミナーの開催
- ・場所 笠間市 参加者 60 名

(ウ) 堆肥の広域流通を促進するため、堆肥生産者リストを作成し、耕種農家に堆肥生産者情報を提供しました。

(エ) 県や J A 等の協力を得て、堆肥需要調査を実施するとともに特殊肥料届出を推進しました。

- ・調査件数 26 件 特殊肥料の届出 24 件

イ 堆肥利用集団の取組支援をしました。(2 集団)

- ・堆肥利用実証圃設置に対する奨励金を交付 6,800 a
- ・堆肥利用実証圃への輸送経費補助 390 t

ウ 霞ヶ浦流域で生産される良質な堆肥を肥料メーカーに供給するなど農業以外での利用を促進し、肥料メーカーが生産する混合堆肥複合肥料の実証圃の設置を支援しました。

- ・肥料メーカーへの堆肥供給量 54.2 t
- ・混合堆肥複合肥料実証 14.4 ha

(2) 地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業

(補助：農畜産業振興機構, 継続) **公益**

肉用牛の生産基盤を強化するため、肉用牛繁殖経営が行う高能力繁殖雌牛の導入及び増頭に資する施設整備の取り組みに助成しました。

- ・中核的担い手増頭推進 10 集団 119 頭
- ・優良繁殖雌牛導入支援 1 集団 2 頭
- ・増頭に資する施設整備 2 集団 9 施設

(3) 銘柄畜産物ブランド支援事業

(補助：茨城県, 継続) **公益**

県内養豚農家の種豚の能力向上を推進するため、県養豚研究所で造成された系統豚「ローズ L-3」による種豚の更新に対し助成しました。

- ・戸数 19 戸 132 頭

(4) 畜産経営指導体制円滑化推進事業 (補助：茨城県, 継続) **その他**

ア 家畜改良支援事業

本県の優秀な種畜の血統の保持と能力向上を図り、子豚登記及び種豚登録を推進するため子豚登記検査員研修会を開催しました。また、養豚経営安定対策事業申請手続きに係る生産者への支援等を推進しました。

イ 畜産協会組織強化事業

畜産情勢の変動に対応した指導支援を実施するため、常勤役員及び畜産アドバイザーを設置し、畜産協会の組織執行体制の強化を図りました。

(5) 家畜登録推進事業 (単独, 継続) **その他**

県、市町村及び関係団体の協力を得て種豚登録、子豚登記を積極的に実施するとともに系統豚の認定規定に関する証明を行いました。

・種豚登録 200件 子豚登記 527件 一代雑種血統証明 685件

(6) 畜産共進会開催事業 (補助：茨城県, 継続) **その他**

家畜の改良増殖を促進するため、広域的な共進会について、開催経費の一部を助成しました。

共進会名	実施団体	開催場所	期日
第58回関東肉牛枝肉共進会	茨城県家畜商業協同組合	東京都中央卸売市場食肉市場	平成29年10月2日～4日
第11回全国和牛能力共進会	全国農業協同組合連合会茨城県本部	宮城県仙台市	平成29年9月7日～11日

(7) 繁殖雌牛整備推進事業 (受託：茨城県, 継続) **その他**

優良繁殖雌牛群の整備を推進するため、肉用牛繁殖農家を対象に繁殖雌牛育種価分析値にもとづく支援を実施しました。

・対象戸数 405戸 育種価判明頭数 2,836頭

(8) 乳用種初生牛の経営調査事業 (受託：中央畜産会, 継続) **その他**

酪農経営を対象に、経営の概況及び乳用種初生牛の生産費調査を行いました(10戸)

(9) スマートフィーディング実証事業 (受託：草地協会, 継続) **その他**

自給可能な国産粗飼料・国産濃厚飼料の利用拡大のため行う実証への支援及びモデル実証等に要した経費に関する現地、書類等の確認を行いました。

・現地確認件数 4件(肉用牛2, 酪農2)

(10) 畜産振興対策事業

(単独, 継続) **その他**

県及び国等に対する畜産行政施策の要請活動や共進会等への協力や支援及びその他畜産振興に係る事業を行いました。

ア 畜政活動

県内の畜産関係団体及び JA 県中央会との連携を図りながら、畜産行政施策に係る提言や要請活動を行いました。

イ 生産流通促進

畜産関係団体が開催する各種共進会やオークション等に支援しました。

ウ 事業円滑化推進

円滑な事業推進を図るため、関係機関及び畜産関係団体との調整・協議を行いました。

(11) 畜産大賞選定事業

(単独, 継続) **その他**

- ・平成 30 年 3 月 12 日に畜産大賞審査委員会を開催
- ・場所 畜産センター 審査委員 4 名

(受賞者概要)

受賞部門	受賞区分	受賞者	受賞内容
地域振興	最優秀賞	水戸地域 飼料利用組合	水戸市内の酪農家 4 戸からのスタートし、その後 6 市町の広域的な組織に成長し、稲 WCS の供給先となっており、今後も自給飼料率の向上や地域水田農業の発展に寄与することを期待。
	優秀賞	川井 一浩	地域の出荷組合の代表として、地域ブランド牛の「笠間和牛」を出荷し、県産牛肉の評価を高めた。一方、笠間栗ブランドの向上に貢献
特別功労賞		岡田 佳之	42 年にわたって産業動物診療に携わり、蹄病について牛を寝かせて削蹄する技術を広めるなど、パイオニアとして貢献。
特別功労賞		(有)常陸牧場	平成 29 年度東京食肉市場豚枝肉共励会で、最高位の名誉賞を受賞し、本県産の評価を高めた。

(12) 銘柄畜産物ブランド支援事業（常陸牛輸出促進）

(補助：茨城県 受託：茨城県常陸牛振興協会, 継続) **その他**

常陸牛の輸出とブランド力向上のため輸出販売促進員を設置し、東南アジア等を中心に常陸牛の輸出を促進しました。

- ・常陸牛輸出販売促進員 1 名
- ・新規常陸牛海外販売推奨店 タイ5店舗 ベトナム3店舗 アメリカ1店舗

(13) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査事業

(受託：中央畜産会，継続) その他

畜産クラスター事業推進のために必要な指標データとして活用するために、本県の先進的な経営体を対象として経営内容に係る調査・取りまとめを行いました。

- ・調査戸数 6戸（肉用牛4，酪農2）

(14) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

(受託：中央畜産会，継続) その他

畜産クラスター協議会が定める畜産クラスター計画等に基づき、地域の収益性向上等に必要な機械器具等（リース・購入）の導入を図るため、事業の推進業務を実施しました。

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
H29 第1回	14	73	299	12	40	55
H29 第2回	18	85	175	14	42	63
※その他，県内の機械導入状況調査に係る現地確認10件を実施						

(15) 畜産・酪農生産力強化対策事業（家畜生産性向上対策）

(受託：中央畜産会，継続) その他

家畜生産性向上を図るため、家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるための家畜・酪農の生産性データ等の収集・分析、技術指導を実施しました。

- ・対象戸数 9戸（肉用牛5，酪農4）

(16) 和牛生産基盤強化対策事業

(補助：茨城県，継続) その他

和牛生産基盤の強化のため、規模を拡大する繁殖農家が行う繁殖雌牛の導入に要する経費の一部を助成しました。

- ・繁殖雌牛の導入 8集団 110頭

(17) 養豚経営安定対策補完事業

(補助：農畜産業振興機構，継続) その他

産子数の向上や配合飼料の節減など生産コストの低減を図るため、一代雑種雌豚の導入に要する経費の一部を補助しました。

- ・種豚導入 10集団 644頭

(18) 酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）

(受託：中央畜産会，新規) その他

県内の楽酪応援会議が地域酪農の労働負担軽減に資する機械装置の導入事業の円滑な推進を図るため、事業推進会議の開催、推進指導、調査及びデータ取りまとめ等を行いま

した。

	要 望			採 択		
	協議会数	経営体数	機械数	協議会数	経営体数	機械数
H29 第 1 回	1	3	4	1	3	4

(19) 養豚経営安定対策事業における連絡調整業務事業（受託：農畜産振興機構，新規）**その他**

事業の内容・適切な事務処理について周知を行い，円滑な事業実施のための理解・協力を得るため，県内事業説明会を開催し，事業関係者から事業に関する照会対応及び事業の適正実施を図るための連絡調整等を行いました。

3 畜産の理解醸成を図る事業

(1) 畜産振興補助事業（補助：地方競馬全国協会，継続）**公益**

畜産農家に対する経営診断及び後継者育成等を通して畜産経営の安定化を図るとともに，県産畜産物のPR活動等により，消費者に対する畜産への理解醸成を図るための下記事業を推進しました。

ア 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

(ア) 地域畜産総合支援体制整備事業

総括畜産コンサルタント2名、畜産コンサルタント4名、畜産経営アドバイザー16名を設置し、経営体に対し経営指導を実施しました。 指導件数 85 戸

(イ) 優良種畜整備推進事業

県産和牛や種豚の能力向上を図るため，育種改良に関する調査及び情報提供を実施しました。 改良調査頭数 2,836 頭

(ウ) 畜産生産基盤強化対策事業

畜産農家の担い手を確保するため新規参入者の参入支援のための研修・講習会を開催及び高能力な種畜の導入を支援しました。

講座参加数 12 名 種畜導入頭数 262 頭

(エ) 飼料自給率向上対策事業

技術の普及啓発及び飼料自給率の向上を図るため，自給飼料コンクールを開催し優良事例の取組みを広く発信しました。 出品点数 13 点

イ 地域畜産の活性化，安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

(ア) 地域畜産物活用食材支援事業

県産畜産物を素材とした学校給食メニューの提供及び催事等への出展による普及啓発活動を実施し，食育活動を推進しました。

食育支援 4 回 8,705 食 催事出展 3 日 450 食。

(イ) ネクストファーマー交流活性化チャレンジ事業

経営技術の習得を推進するため、交流会を開催し、畜種を超えた若手生産者ネットワークの構築を支援しました。 研修交流会 1 回 48 名参加。

(ウ) 銘柄畜産物販路拡大促進対策事業

県の銘柄畜産物のブランドアップ活動やインターネットを活用した情報発信及び海外への販路開拓のため販売促進プロモーション活動を実施しました。

Web ページアクセス数 52 万件 販促プロモーション 4 日、来場者計 5,618 名

(エ) 茨城県畜産大賞選定表彰事業

県内の畜産振興に特に貢献のあった個人又は団体を表彰し、その功績を広く周知しました。

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

・「オフトひたちなか」にてローズポーク焼肉試食会を開催 来場者約 1,700 名

(2) 常陸牛情報発信事業

(受託：茨城県常陸牛振興協会，継続) **その他**

銘柄和牛「常陸牛」の知名度向上と消費拡大を図るため、インターネットを活用した情報発信を行いました。

ア 常陸牛ホームページを活用した広報宣伝

指定店・推奨店の情報やイベント情報の発信

イ 常陸牛ホームページの運営管理

- ・ ページアクセス数 106,751 件/年
- ・ 広告インプレッション数 303,660 件/年
- ・ プレゼントキャンペーンの実施 2 回 (応募数 4,928 件)

(3) 畜産活性化対策事業

(単独，継続) **その他**

県産畜産物の消費拡大を図るため、イベント参加とインターネットを活用した情報発信を行いました。

ア 県内各地のイベント等において県産畜産物のおいしさ，安全・安心をPRしました。

平成 29 年 9 月 30 日～10 月 1 日 畜産フードコレクション (三の丸庁舎特設会場)

平成 29 年 10 月 21 日 畜産センター公開デー (畜産センター)

イ ホームページ等を活用し，情報発信と宣伝広告を行いました。

II 家畜・畜産物の衛生対策を支援する事業

1 防疫体制の整備を図る事業

(1) 自衛防疫強化総合対策事業 (補助：茨城県, 継続) 公益

自衛防疫を円滑に実施するため、地域単位での自衛防疫推進会議を開催しました。また、家畜衛生に関する資料を作成し、情報提供による衛生知識の普及向上を図りました。

ア 自衛防疫推進会議

期 日	場 所	参加者	期 日	場 所	参加者
平成 29 年 4 月 26 日	水戸市	42 名	平成 30 年 3 月 7 日	筑西市	28 名
平成 29 年 5 月 8 日	土浦市	29 名	平成 30 年 3 月 13 日	水戸市	33 名
平成 29 年 5 月 9 日	鉾田市	21 名	平成 30 年 3 月 13 日	鉾田市	16 名
平成 29 年 5 月 10 日	筑西市	34 名	平成 30 年 3 月 14 日	土浦市	42 名

イ 広報事業

衛生知識の普及と病原体侵入リスク低減を図るため、印刷物等を作成し配布しました。

- ・「オーエスキー病野外ウイルス感染豚飼養農場の情報共有について」 チラシ 500 枚
- ・「AD ワクチン接種を徹底し、平成 30 年度末の AD 清浄化を目指しましょう！」
チラシ 500 枚
- ・「肉用繁殖雌牛の牛白血病検査について」 チラシ 1,000 枚
- ・「地方病型牛白血病 (EBL) とは～牛白血病 Q&A」 冊子 1,000 部
- ・「畜産農家の皆様へ！毎月第一金曜日は一斉消毒の日」 マグネットポスター 1,600 部

(2) 地域自衛防疫推進事業 (補助：茨城県, 継続) 公益

口蹄疫等の悪性家畜伝染病に対する防疫対策や組織的な対応が必要な疾病の発生防止対策を推進し、地域自衛防疫体制の充実・強化を図りました。

(3) 衛生体制強化基金事業 (補助：中央畜産会, 継続) 公益

自衛防疫推進会議に併せブロック会議を開催し、牛及び豚の予防接種を推進しました。

(4) 家畜防疫互助基金支援事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) 公益

豚コレラ・口蹄疫・アフリカ豚コレラ・牛疫・牛肺疫の発生による畜産経営への影響緩和のため、生産者への事業加入促進を図りました。

(平成 29 年度家畜防疫互助事業加入状況)

対象農家	加入戸数	加入頭数
酪農家	231 戸	18,375 頭

肉牛農家	401 戸	46,369 頭
養豚農家	170 戸	425,472 頭
合 計	802 戸	490,216 頭

(5) 馬飼養衛生管理特別対策事業 (受託：中央畜産会, 継続) **その他**

地域における馬飼養衛生管理体制の整備を図るため、委員会の開催や馬飼養者等を対象に講習会を開催し、乗用馬等の獣医療実態調査を行いました。

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

- ・平成 29 年 12 月 13 日 土浦市 参加者 8 名

イ 馬飼養衛生管理技術講習会

- ・平成 29 年 12 月 13 日 土浦市 参加者 31 名

「日常遭遇する馬の疾病と予防対策及び馬の栄養管理について」

ウ 地域馬獣医療実態調査

馬飼養者に対して、衛生管理の概念や飼養馬の疾病予防に関する認知度及び獣医療の実態について調査を行いました。

- ・調査戸数 51 戸 ・回答戸数 26 戸

(6) 自衛防疫体制強化推進事業 (受託：家畜衛生対策推進協議会, 継続) **その他**

ア 地域自衛防疫活動推進対策

口蹄疫等の発生時に、迅速かつ的確な防疫措置が講じられるよう、県内 4 地域において防疫演習を行い、初動防疫体制の充実・強化を図りました。

期 日	場 所	参加者
平成 29 年 10 月 4 日	筑西市	120 名
平成 29 年 10 月 5 日	水戸市	132 名
平成 29 年 10 月 12 日	鉾田市	84 名
平成 28 年 10 月 18 日	かすみがうら市	110 名

イ 慢性感染症清浄化支援対策

モデル農場において牛白血病拡大防止のための衛生管理対策を実施しました。

- ・検査頭数 15 頭

(7) 地域豚疾病緊急対策推進事業 (受託：中央畜産会, 継続) **その他**

養豚農場で生産性を著しく阻害する疾病 (AD、PED) の発生低減対策を立案し、それに基づいた衛生対策を行い、疾病の発生を低減し、まん延を防止に取り組みました。

(8) 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業 (受託：中央畜産会，継続) **その他**

改正された「飼養衛生管理基準」を周知・徹底させるため，委員会の開催や普及説明会を開催しました。

開催	場所	参加者	備考
8月23日	水戸市：茨城県 JA 会館	14名	養鶏
8月28日	石岡市：石岡プラザホテル	59名	養豚
12月13日	土浦市：土浦合同庁舎	32名	馬
2月28日	茨城町：全農茨城県本部	117名	肉用牛
3月9日	水戸市：茨城県市町村会館	29名	乳用牛

2 家畜の疾病予防対策を推進する事業

(1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業 (補助：農林水産省，継続) **公益**

ア ヨーネ病清浄化対策事業

牛のヨーネ病まん延防止並びに早期清浄化のために飼養者が自主的に行う検査経費に助成しました。

・検査頭数 1,583頭 実施戸数 延べ 2戸

イ 牛白血病対策事業

牛白血病の感染拡大を防止するため，発生農場での重点的な抗体検査や共同放牧場での抗体検査及び吸血昆虫の駆除対策等を支援しました。

・検査頭数 260頭 証明書発行数 23件

・吸血昆虫の駆除対策数 1牧場

ウ 牛ウィルス性下痢・粘膜病

牛ウィルス性下痢・粘膜病の清浄化を推進するため，発生農場等の重点的な検査，持続感染牛のとう汰等を支援しました。

・検査件数 7件

・持続感染牛のとう汰 9頭

エ オーエスキー病清浄化対策事業

(ア) ワクチン接種推進対策

豚のオーエスキー病清浄化のため，陽性豚を全頭とう汰し，ワクチンを全頭接種した農家に対して奨励費を交付しました。

・接種頭数 92,720頭 46戸

うち補助対象頭数 11,096頭 4戸

(イ) 感染豚とう汰促進対策

豚のオーエスキー病の清浄化を促進するため，感染が確認された繁殖豚の計画的

なとう汰に係る経費に助成しました。

- ・感染豚とう汰頭数 520 頭 対象戸数 20 戸

(ウ) 清浄種豚流通促進対策

豚のオーエスキー病のまん延を防止するため、種豚生産農場（6 戸）に対して清浄性確認と販売豚の抗体検査を行い、陰性証明書を発行しました。

- ・検査頭数 226 頭 陰性証明書発行数 29 件

オ 農場飼養衛生管理強化・疾病流行防止対策事業

飼養衛生管理の向上のため、生産者が自主的に指定獣医師等による衛生指導を受けるための調査を行いました。また、吸血昆虫が媒介するアカバネ病と牛異常産の予防のため、生産者による組織的なワクチン接種を実施しました。

- ・調査指導戸数 牛飼養農家 174 戸 豚飼養農家 13 戸 鶏飼養農家 5 戸
- ・予防接種頭数 アカバネ 5,283 頭 牛異常産 3 種混合 3,103 頭

カ 予防接種事故対策事業

予防接種が原因での、家畜事故はありませんでした。

(2) 伝染性疾病発生予防事業

(単独, 継続) **公益**

牛の伝染病発生予防のため、イバラキ病、牛クロストリジウム感染症 3 種混合及び牛伝染性鼻気管炎の 5 種混合の予防接種を実施しました。

- ・牛クロストリジウム感染症 3 種混合 177 頭
- ・牛伝染性鼻気管炎 5 種混合 828 頭
- ・イバラキ病 290 頭

(3) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

(受託: 中央畜産会, 継続) **その他**

乗用馬等に対する馬インフルエンザと、繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎の予防接種を行いました。

- ・馬インフルエンザ 317 頭
- ・馬鼻肺炎 延べ 6 頭

(4) 育成馬等予防接種推進事業

(補助: 中央畜産会, 継続) **その他**

馬生産育成地において、軽種馬の安定的生産を図るため、育成馬の予防接種に要する経費を助成しました。

(育成馬の予防接種)

対 象	予 防 接 種 名	頭 数
1 歳馬	3 種混合補強接種	2 頭
	インフルエンザ補強接種	16 頭

2 歳馬	3 種混合補強接種	70 頭
	インフルエンザ補強接種	202 頭
	日本脳炎補強接種	8 頭
	2 種混合基礎接種	182 頭

3 畜産物の安全性を確保する事業

(1) 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業 (補助：農林水産省, 継続) 公益

BSE対策特別措置法に基づき, 48 か月齢以上の死亡牛のBSE検査を推進するため, 農家への広報活動や死亡牛の輸送費及び検査費を助成しました。

ア 死亡牛検査処理安定化対策事業

BSE検査を円滑に実施するため, 県内で死亡した対象牛について, 死亡場所から化製場までの適正な管理輸送にかかる経費を助成しました。

- ・死亡場所からBSE検査センターまでの輸送頭数 749 頭
- ・BSE検査センターから県外化製場までの輸送頭数 1,315 頭

イ 死亡牛検査支援対策事業

県が実施するBSE検査に要する経費のうち, 農家が負担する経費について助成しました。

- ・BSE検査頭数 1,315 頭

(2) 農場 HACCP 認証普及推進支援対策事業 (受託：中央畜産会, 継続) その他

農場 HACCP システムの取組を推進するため, コーディネーターによる農場の指導経費を支援しました。また広範的な普及を図るため, 取組農場との意見交換会や研修会を開催しました。

- ・指導農場数 5 農場
- ・農場意見交換会

開催日	農場所在地	内容
平成 29 年 11 月 9 日	水戸市	指導農場にて認証に向けた構築指導状況と 認証取得時期等今後のスケジュール
平成 29 年 11 月 16 日	坂東市	
平成 29 年 11 月 28 日	行方市	
平成 29 年 11 月 30 日	石岡市	

- ・講習会開催

平成 30 年 2 月 15 日 茨城県農業共済組合連合会会議室 28 名参加
農場 HACCP の説明と山形県の取組農場の事例紹介

Ⅲ 家畜・畜産物の価格補償を行う事業

1 子牛等の家畜販売に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用子牛生産者補給金交付事業 (補助：農畜産業振興機構・茨城県, 継続) 公益

肉用子牛農家の経営安定を図るため、肉用子牛生産者補給金制度に基づき、肉用子牛生産者補給金交付事業を効率的に実施しました。

・契約生産者戸数 386 戸

ア 肉用子牛生産者補給交付金交付事業

今年度は子牛価格が1年を通して高値で推移したため、補給金の交付はありませんでした。

イ 肉用子牛生産者積立助成事業

肉用子牛生産者補給金の財源として、協会が積み立てる生産者積立金について、その一部に充てるための助成を受けました。

農畜産業振興機構助成金：生産者積立金の2分の1以内

茨城県助成金：生産者積立金の4分の1以内

(個体登録実績頭数)

種 別	頭 数
黒毛和種	3,019 頭
褐毛和種	2 頭
黒毛和種及び褐毛和種以外の肉専用種の品種	1 頭
乳用種の品種	1,741 頭
肉専用種と乳用種の交雑の品種	4,929 頭
合 計	9,692 頭

注) 事業実施期間 平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) 公益

補給金制度の適正な実施を図るための調査・指導、肉用子牛取引情報の収集をすともにも、協会の運営体制の強化等を図りました。

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度に係る事業執行を的確に実施するため、統一電算システムを利用して肉用子牛に係る一連の事務と、家畜市場における肉用子牛の取引情報の収集と報告並びに事務委託先・契約生産者との事務手続き等についての点検、調査及び指導を実施し、業務の的確で迅速な処理体制を整備強化しました。

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を円滑に推進するため、協会の運営体制の強化を図りました。

(3) 肉用子牛生産者補給金交付事業事務 (単独：継続) **公益**

肉用子牛生産者補給金交付事業を実施するための事務を行いました。

(4) 肉用牛繁殖経営支援事業 (補助：農畜産業振興機構，継続) **公益**

肉用子牛生産者補給金交付事業の補完事業である本事業への加入促進と加入申請の事務を行いました。

・参加戸数 299 戸

子牛価格が家族労働費の 8 割水準を下回ったため、対象子牛に対して支援金を交付しました。

・支援金交付実績

時 期	種 別	頭 数	金 額
第 2 四半期 (29 年 7 月～9 月)	黒毛和種及び褐毛和種 以外の肉専用種の品種	1 頭	53,600 円

2 枝肉等の畜産物に係る価格補償を行う事業

(1) 肉用牛肥育経営安定特別対策事業 (補助：農畜産業振興機構，継続) **公益**

肥育牛の枝肉価格及び素畜価格の変動により肥育牛 1 頭当たりの粗収益 (全国平均) が生産費 (全国平均) を下回った場合、その差額の 8 割を限度とし補填金を交付しました。

・肥育牛契約生産者数 179 戸

・肥育牛個体登録状況 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

種 別	頭 数
肉専用種	12,118 頭
交 雑 種	8,089 頭
乳 用 種	3,665 頭
合 計	23,872 頭

・肥育牛補填金交付状況

時 期	種 別	頭 数	金 額
平成 29 年 2 月期～平成 30 年 1 月期 (月毎交付)	肉専用種	0 頭	0 円
	交 雑 種	8,038 頭	406,765,200 円
	乳 用 種	3,764 頭	159,994,100 円
合 計		11,802 頭	566,759,300 円

(2) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進事業 (補助：農畜産業振興機構, 継続) 公益

補填金の交付を円滑に行うため, 契約者や事務委託先などの指導や必要な事務処理を行いました。

(3) 肉用牛肥育経営安定特別対策推進事業事務 (単独, 継続) 公益

肉用牛肥育経営安定特別対策事業を実施するための事務を行いました。

(4) 養豚経営安定対策事業申請等事務 (単独, 継続) 収益

肉豚生産者の依頼を受け, 養豚経営安定対策事業に係る申請事務等を行いました。

- ・ 契約生産者数 51 戸
- ・ 対象頭数 94,187 頭